

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本競技会は2013年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。

## 2 練習会場等について

10月2日(水)～10月8日(火)の期間は「練習会場使用上の注意事項」「練習会場使用日程」に基づき練習ができる。なお、練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。

## 3 招集について

(1) 招集所は、陸上競技場第4コーナー出口駐車場付近に設ける。

(2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。

(3) 招集の方法

① 競技者は招集開始時刻に招集所で競技役員の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。

② 代理人による最終点呼は認めない。

③ 2種目同時に出場する競技者は、招集完了時刻30分前までに所定の「2種目同時出場届」(監督会議時に配布。予備をTIC(招集所付近)に用意する)に記入し、TICに提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。

④ 棄権する場合は、各種目招集完了時刻30分前までに所定の「棄権届」(監督会議時に配布。予備をTIC(招集所付近)に用意する)をTICに提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものとする。

## 4 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、主催者が4枚配布する。(胸・背・トレーニングシャツ・手荷物用)

(2) 着用については、競技規則第143条7、8を厳守すること。

(3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配布する。

## 5 競技場への入退場について

(1) 競技場内への入退場はすべて競技役員の指示・誘導による。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場する。

## 6 競技の抽選並びに番組編成について(レーン順・試技順)

(1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。

(2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、補助競技場(西競技場)入口とTIC付近の掲示板に印刷物で掲示する。

(3) トラック競技でタイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときは、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは抽選とする。(競技規則167条2)

(4) 抽選が必要になったときは、当該競技者にアナウンスにより連絡し、競技運営本部にて当該競技者あるいは代理人により抽選し決定する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が競技運営本部に来なかったときは、主催者が代行する。

## 7 競技及び競技方法について

### (1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- ⑤ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）

### (2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。フィールド競技の練習は2回とする。その際、棒高跳はゴムバーを使用する。
- ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また砲丸投・円盤投・ハンマー投については、サークル直後に主催者が用意したマーカーを1つ置くことができる。
- ④ 棒高跳の競技者は、支柱の位置をあらかじめ所定の「アップライト申告用紙」に記入し、招集時に競技者係に提出する。
- ⑤ 成年女子三段跳の踏切板は、砂場から11mの位置に設置する。
- ⑥ 少年男子A三段跳の踏切板は、砂場から13mの位置に設置する。
- ⑦ 走幅跳、三段跳において2ピットで決勝を行う場合、3回の試技の後、4回目からの試技もピットを変えずに行う。
- ⑧ 走高跳、棒高跳の決勝のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで次のとおりとする。  
ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば、日本記録を超える高さにはバーを上げることができる。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後
走高跳	成年男子	1m97	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	2m21	3 cm
	成年女子	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	3 cm
	少年男子共通	1m94	1m97	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	3 cm
棒高跳	成年女子	3m30, 3m70	3m50	3m60	3m70	3m80	3m85	3m90	3m95	4m00	5 cm
	少年男子共通	4m30, 4m80	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	4m95	5m00	5 cm
	少年女子共通	2m70, 3m20	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m35	3m40	5 cm

### (3) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」に記入し、競技者係に提出すること。  
ただし、準決勝・決勝においては、メンバー・走者順に変更のある場合のみ「リレーオーダー変更届」を競技者係に提出すること。なお、締切時刻は各種目第1組の招集完了時刻の1時間前までとする。
- ② リレー競走において使用するマーカーは主催者が用意する。除去については使用したチームが必ず行うこと。
- ③ 「リレーオーダー用紙」「リレーオーダー変更届」は監督会議時に配布する。予備を競技者係に用意する。
- ④ 抗議は、競技規則第146条に定められた時間（大型映像表示時刻を基準とする）内に、競技者自身または代理人が、TICの担当総務員に口頭で申し出る。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金（1万円）を添え、TICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。

### (5) 助力について

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。

## (6) 警告について

不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告は黄色（スタート動作時については黄黒色）のカード、除外は赤色（スタート動作時については赤黒色）のカードを示すことによって競技者に知らされる。

## 8 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものとする。ただし、競技場に備え付けられていない投てき用具と1個しかない投てき用具に限り持ち込みを認めるので、希望者は各競技開始2時間前から70分前までに、TIC（招集所付近）に持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出する。受け付けた「投てき用具」については「投てき用具預り証」を発行する。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。受け付けた投てき用具は、競技終了後にTICで「預り証」を確認のうえ返却する。

## 9 競技用靴について

競技場は全天候舗装である。スパイクの数は1本以内で、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。

なお、走高跳と走幅跳における靴底の厚さは13mm以内、走高跳の踵は19mm以内でなければならない。

## 10 ドーピング検査について

- (1) 検査は、日本ドーピング防止規程及び関連規則に基づき実施する。
- (2) ドーピング検査対象に選定された競技者は、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、競技役員の指示に従って検査を受けること。

## 11 種目別表彰について

- (1) 各種目の1～8位までの入賞者（リレーは1チーム4名）を表彰する。
- (2) 各種目の入賞者は、ミックスゾーンを出た後、インタビュー室経由で入賞者待機所まで誘導される。
- (3) 表彰時は、各都道府県のユニフォームを着用すること。

## 12 総合表彰式について

- (1) 総合表彰式は、10月8日（火）全競技終了後、11時00分からメイン競技場で行う。
- (2) 男女総合成績第8位までに入賞の各都道府県代表1名（優勝チーム2名）、女子総合成績第8位までに入賞の各都道府県代表1名（優勝チーム2名）は、10時40分までにB1F入賞者待機所に集合すること。

## 13 一般連絡・注意事項

- (1) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。  
競技時間以外（競技開始前）のメイン競技場での練習においても、この規定に従う。
- (2) 更衣室は、補助競技場（西競技場）の更衣室と、都道府県別選手控所の男女別仮設テントとする。荷物は各自で管理すること。万一の場合があっても責任は負わない。
- (3) 記録はその都度発表する。また、補助競技場（西競技場）付近とTIC付近の掲示板に印刷物で掲示する。当日の記録はB1F玄関ホールに設置した各都道府県の記録配布棚に順次配布する。
- (4) 正面スタンド及びスタンド内手すりへの応援旗・部旗・横幕等の取り付けは禁止する。取り付ける場合は、下層スタンド最後部通路安全柵のみとする。
- (5) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特に正面スタンド、各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。（フィールド種目試技時の応援声出しは、トラック競技進行の妨げにならないように慎むこと）
- (6) スタンドの手すりにもたれての応援はしないこと。また、立っての観戦もしないこと。
- (7) 車椅子席を本来の目的以外に使用することや、通路での観戦・休憩は禁止する。
- (8) 応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、救護室を利用することができる。

- (9) 競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (10) 競技会期間中の貴重品の管理は、各自が責任をもって行うこと。
- (11) 競技者の遺失物についてはT I Cで10月8日（火）午前10時00分まで管理する。
- (12) 棒高跳のポール輸送取り扱いについては、下記のとおりとする。

① 送り主が宅配便等により、下記あて先に時間指定で発送のこと。

**送り先** 〒182-0032 東京都調布市西町 376 番地 3  
味の素スタジアム 総務部 事業課 宛  
Tel : 042-440-0813

**受付日時** 10月1日（火）～10月5日（土）12:00～16:00

**問い合わせ先** Tel : 042-440-0813

- ② 送付された棒高跳のポールは、メイン競技場で保管する。使用する際は、担当競技役員に申し出ること。
- ③ 競技終了後は、T I Cに宅配幹旋業者の窓口を設けるので、各自で返送手続きを取ることに。
- (13) 記録証の交付を希望する競技者は、記録証受付所（都道府県別選手控所付近）にある「記録証交付願」に必要事項を記入し、記録証受付所に600円（郵送料込）を添えて申し込むこと。
- (14) 競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりADカードが渡される。ADカードで行動できる範囲は、各練習場とする。ADカード使用者は、各練習場内を移動する場合は必ずADカードが確認できるように携帯すること。
- (15) トレーナーステーションとウェイトトレーニング場は補助競技場（西競技場）に設置する。
- (16) 競技関係書類の提出先は次のとおりとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	棄権届	T I C	招集完了時刻30分前まで
2	2種目同時出場届	T I C	第1種目の招集完了時刻30分前まで
3	リレーオーダー用紙	競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
4	リレーオーダー変更届	競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
5	アップライト申告用紙	競技者係	招集開始時間に
6	投てき用具検査申請書	T I Cを通じて公式計測員に	競技開始2時間前から70分前まで
7	抗議申し立て (口頭)	T I C	正式記録発表後（予・準）15分まで 正式記録発表後（決）30分まで
8	上訴申立書（文書） （預託金1万円）	T I C	審判長公式裁定後（予・準）15分まで 審判長公式裁定後（決）30分まで
9	記録証交付願	記録証受付所	競技終了後随時
10	プログラム訂正届	監督会議会場	10月3日は16時30分まで
		T I C	10月4日～8日は8時30分まで

- (17) 競技会運営本部設置について  
調布市実行委員会実施本部

【10月4日（金）～10月8日（火）】

「味の素スタジアム内」

〒182-0032 東京都調布市西町 376 番地 3

Tel : 042-499-9181 Fax : 042-499-9182

#### 1.4 練習会場使用上の注意事項

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずADカードを明示する。また、コーチは会場において常にADカードが確認できるように携帯する。
- (5) メイン競技場での練習は、競技会当日朝の時間帯、トラック種目のみ使用可とする。区割りは以下のとおりとする。
  - ・1～2レーン：中・長距離、競歩
  - ・3～6レーン（ホームストレート）：短距離
  - ・7～9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（ハードルの移動不可）
  - ・3～7レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離・リレー
  - ・8～9レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
- (6) 補助競技場（西競技場）での練習区割りは以下のとおりとする。
  - ①トラックの使用は、原則として以下のとおりとする。なお、逆走は禁止する。
    - ・1～2レーン：中・長距離、競歩
    - ・3～4レーン（ホームストレート）：短距離
    - ・5～8レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（混雑時ハードルの移動不可）
    - ・3～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離・リレー
    - ・7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
  - ②ハードル種目及びリレー競技が実施される日は、それぞれ優先レーンを増やし、練習場の確保をする。ただし、混雑時のハードル移動（インターバルの変更）は不可とする。詳細は、練習場係の指示にしたがってください。
  - ③跳躍種目の全てが練習可能である。
  - ④トラック種目の練習時、監督・コーチは走路上で競技者に指示を出すことはできない。ただし、担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
- (7) 投てき種目の練習は投てき練習場のみとし、「練習会場使用日程」どおり、それぞれの種目の練習を行うことができるが、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。選手が持参した投てき物を使用する場合は、選手またはコーチが「持参投てき物確認表」に必要事項を記入する。また、日没等で安全の確保が困難な場合は、予定時間前でも練習会場を閉鎖する場合がある。
- (8) 代々木公園陸上競技場での練習は、「練習会場使用日程」どおり、それぞれの種目の練習を行うことができる。
  - ①トラックの使用は、原則として以下のとおりとする。なお、逆走は禁止する。
    - ・1～2レーン：中・長距離、競歩
    - ・3～5レーン（ホームストレート）：短距離
    - ・6～8レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（混雑時ハードルの移動不可）
    - ・3～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離・リレー
    - ・7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
  - ②競技者・監督・コーチ以外は、トラック及びインフィールドに入れない。
  - ③投てきの練習は、「練習会場使用日程」で示したとおり、一切禁止する。
  - ④代々木公園陸上競技場への移動の際は、公共交通機関を利用すること。

代々木公園陸上競技場 〒150-0041 東京都渋谷区神南2-3  
JR 山手線「原宿駅」下車 徒歩10分  
東京メトロ千代田線「代々木公園駅」下車 徒歩5分  
小田急線「代々木八幡駅」下車 徒歩8分
- (9) 雨天練習場での練習は、競技者・監督・コーチ以外の立ち入りは禁止する。走る方向は一方通行とし、危険防止に努める。

1 5 練習会場使用日程

会 場	種 目	10月2日(水) 練習日	10月3日(木) 練習日	10月4日(金) 第1日目	10月5日(土) 第2日目
メイン競技場	トラック			7:30 ~ 9:00	7:30 ~ 9:00
補助競技場 (西競技場)	トラック	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00
	走幅跳・三段跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00
	走高跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00
	棒高跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00
投てき練習場	砲丸投	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	6:30 ~ 17:00	6:30 ~ 17:00
	やり投	9:00 ~ 11:00	14:00 ~ 17:00	13:30 ~ 17:00	6:30 ~ 13:40
	円盤投	11:00 ~ 14:00	11:00 ~ 14:00	6:30 ~ 8:30	
	ハンマー投	14:00 ~ 17:00	9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 13:00	14:00 ~ 17:00
代々木公園陸上競技場	トラック	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00
	走幅跳・三段跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00
	走高跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00
雨天練習場	トラック			7:30 ~ 18:00	7:30 ~ 18:00
競技会当日 投てき種目				少年男子共通円盤投 少年男子B砲丸投 成年女子ハンマー投	少年女子共通砲丸投 成年男子やり投

会 場	種 目	10月6日(日) 第3日目	10月7日(月) 第4日目	10月8日(火) 第5日目
メイン競技場	トラック	7:30 ~ 9:00	7:30 ~ 9:00	7:30 ~ 8:45
補助競技場 (西競技場)	トラック	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 11:00
	走幅跳・三段跳	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00	
	走高跳	6:30 ~ 18:00	6:30 ~ 18:00	
	棒高跳	6:30 ~ 10:50		
投てき練習場	砲丸投	6:30 ~ 12:10		
	やり投	6:30 ~ 13:20		
	円盤投			
	ハンマー投	13:30 ~ 17:00	6:30 ~ 13:30	
代々木公園陸上競技場	トラック	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	
	走幅跳・三段跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	
	走高跳	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	
雨天練習場	トラック	7:30 ~ 18:00	7:30 ~ 18:00	6:30 ~ 9:45
競技会当日 投てき種目		少年男子Aやり投 少年男子A砲丸投 少年共通女子やり投	少年女子Aハンマー投 成年男子ハンマー投	